

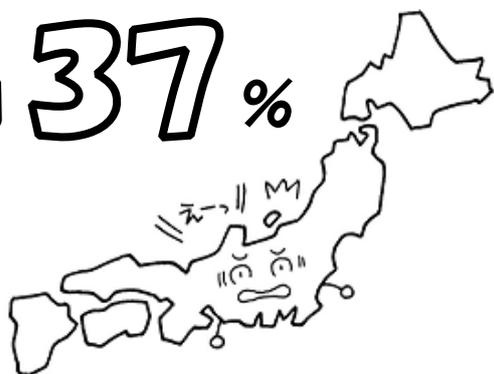


地産地消について

自分たちが住んでいる地域で生産された食材を「地場産物」といいます。また、地場産物をその地域で消費することを「地産地消」といいます。地場産物は生産者の顔が見えるので安心して買えます。また、遠くから輸送せず新鮮な状態で手に入り、環境への負担も減らせます。

日本の自給率は

約 **37%**



食料自給率とは、その国で食べている食料のうち、どのくらいが国内でまかなえているかをあらわす割合です。日本は多くの食べ物を外国から輸入していて、食料自給率は約37%（カロリーベース）しかありません。万が一輸入がストップするような事態が起こると、私たちの食生活は成り立たなくなってしまいます。そのため、地域で作られているもの、国産のものを大切にしていける必要があると言えます。

～食料自給率を上げるためにできること～

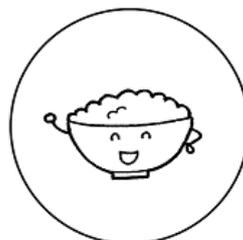


旬の食べ物を選ぶ



地元の食材を食べる

地産地消

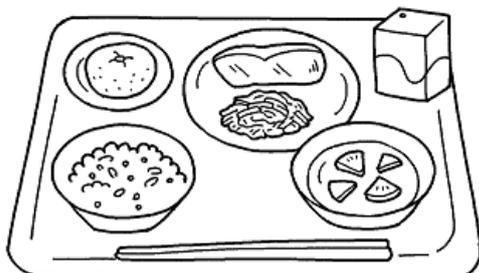


ごはん中心のバランスのよい食事をする



食べ残しを減らす

学校給食にも地場産物を使っています！



学校給食は、地域の生産者によって生産された新鮮な食べ物をたくさん使っています。献立の中から地場産物を探してみましょう。

